

最終年度実証実験の構想

愛知県豊橋市

工学院大学 久田嘉章(WG2主査)

愛知県豊橋市における実証実験

①災害事象：地震災害

②実証項目：

◇地域住民による防災力向上に主眼を置いた
情報共有のためのツール・仕組みの減災への
有効性を確認（平常時および災害時）

◇各種ツールを用いた減災情報を共有プラット
フォームへの接続し、自治体の災害対応に有
効であることを検証

豊橋市実証実験(全体像)

工学院大(WG2):実証実験全体計画立案／災害シナリオの構築

防災科研:実証実験推進／豊橋市との調整／アウトリーチ

豊橋技科大:実証実験のための環境整備／防災ワークショップ支援ツール開発

愛知県
防災科研

防災科研(プラットフォーム開発):減災情報共有データベース(汎用情報共有ハブによる異機関情報共有)

産総研:減災情報共有データベース(汎用情報共有ハブによる異機関情報共有)

消防

<シミュレーション>

安全・安心マイプラン、関澤研:延焼シミュレーション、避難危険表示、地域消防力システムの構築とケーススタディーの実施／避難シミュレーション等との連携実験

産総研:交通シミュレーション／医療資源配分シミュレーション

研究機関等

情報の利活用と提供(市内LAN)

豊橋市:

・防災対策課

・都市計画課

防災科研(プラットフォーム開発):市内情報共有プロトタイプシステム構築

消防研:情報提示方法の検証／災対本部活動支援システムの構築

建築研究所:空間データ整備上の豊橋市における特殊性及び他地域への適用可能性についての検討

市災害対策本部

<情報収集>

工学院大:地域住民による被災情報の集約とプラットフォームへの伝達実験／IT機器による被災情報の集約とPFへの伝達実験

消防研:長距離無線LANを用いた情報伝達(情報収集端末、IPカメラ、IP電話)

住民

嘱託員

現場

被害情報(長距離無線LAN等)

避難所

豊橋市実証実験(予定)

○平常時の利用を想定した実証実験(7~8月)

地域住民・市職員を対象としたWS開催

(対象地域:栄校区山田町・山田石塚町を予定)

:地域防災活動支援ツールの有効性の検証実験

○主な実験項目

- ・IT機器・WebGISを利用した防災関連情報の収集実験、
- ・地域点検マップの作成実験
- ・地域防災力を考慮した延焼シミュレーション実験、など

豊橋市実証実験(予定)

○地震時を想定した実証実験(10~11月)

地域住民・市職員を対象とした防災訓練実施(対象地域:栄校区山田町・山田石塚町、飽海町・東田町西脇二区を予定、想定地震・被害内容:市と協議の上決定):地域防災活動支援ツールとPFへの接続による減災への有効性の検証

○主な実験項目

- ・地域住民による情報収集と被災マップ作成訓練
- ・初期消火など発災対応訓練
- ・市職員・ボランティアによるIT機器・WebGISを利用した被災情報の収集実験
- ・災害対策本部と避難所における情報伝達実験
- ・延焼・避難・交通シミュレーション
- ・避難所・災対本部での情報表示・活動支援システム実験
- ・県への集計結果の報告実験など